

【今回の学校だよりは、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。(〽)】

## 「今！委員会活動が熱いのです」(^\_-)-☆



昨日5月13日(水)6校時に伊岐須小学校の委員会活動の話し合いや活動の場を取材させていただきました。10の委員会に分かれて6月に向けての計画会議をしたり、作業活動をされたり、それぞれが全校児童の学校生活を潤いのあることにつなげようと勇気をもって努力する姿は清く、たくましく、美しい姿でございました。例えば写真①の段ボールを森山産業の森山社長さんが学校に横付けされたパッカー車に担当の小島先生や、七種先生や、島田先生、そして、13名の環境委員会の児童の皆さんが運び入れながら片付けている姿や、写真②の体育委員会の川原田先生、加藤先生、山口先生、そして、15名の体育委員会児童の皆さんによる新体力テストの実演練習(デモンストレーション)の取材していますと、委員会の皆さんの働く姿が輝いて見えました。ふと思い出しましたのは、全国の学校



環境委員会の皆さん①

で共通の教育課程の基準を示す文部科学省の告示であり、学校教育の設計図として法的効力を持つ特別活動の学習指導要領作成に携わられた九州栄養福祉大学 ことども教育学部教授(前福岡教育大学教職大学院教授)の脇田哲郎先生に昨年直接お話を伺った時のことでした。脇田哲郎先生は、「学校の特別活動の児童会活動の中の委員会活動は、全てではありませんが日本の国の縮小版のような組織体に見ることがあります。児童会活動の各種専門委員の5・6年生の皆さんは、国の各省庁に属しているのと同じような感じに思える時があるはず。どの省庁も大切なようにどの委員会も大切に国際社会の一員としても貴重ですね。ただし、キャリアアップの教育活動ですが、小学生にとって児童会活動は、楽しい活動でなければなりません。」と申されました。「なぜなら楽しい活動でないと継続して活動が連続発展していかないので。」の言葉がよくあがってきました。この点から、例えば環境委員会の児童に、ただ段ボールを運ばせるのではなく、社会の第一線で動かれている森山紙業さんと先生方はねらいをもって社会で動かれている人々の工夫や努力の姿に出会わせ、思考をシンクロさせられたのには感動です。また、体育委員会の先生方は、新体力テストを縦割り活動でかわらせたり、ペア学年として低学年と一緒に測定にかかわらせるため体育委員会の児童にリーダーとして模範指導ができるようタイムリーな活動を仕組まれました。紙面の都合で2つの委員会の紹介になりますが、すべての委員会の活動に「未来」を見据えた活動を先生方は組まれてあることが伊岐須小の特色です。(^^\*)



体育委員会の皆さん②

終わりに、特別活動の「児童会活動」とは簡単に申しますと次の4つの学習過程に分類されます。①問題の発見、議題などの選定、②解決に向けての話し合い③解決方法の実践④決めたことの実践⑤振り返り⇒次の課題解決へ(異年齢集団による交流と、学校行事への協力)ひいては、児童にとって様々な役割を合意形成しながら各委員会の仕事を試し判断しながら経験することによって、責任をはたそうとする過程が主人公である子どもが進んで社会参画するための資質や能力を育成することになりますので伊岐須小の10の委員会は子ども達のキャリア力形成に期待大なのです。伊岐須小の10の大切に貴重な5・6年生の委員会メンバーの写真は次頁も続きます。



p.s.森山紙業の社長であられる森山様が今回直々に子ども達の段ボール回収活動に立ち会われ、社員の皆様ともども伊岐須小の児童や先生方の活躍を絶賛されていました。実は森山様は私が菟田小学校在籍させていただいていた約10年前菟田小学校PTA会長をされていたかたで、児童や教師の頑張りを含め、飯塚市はもとより福岡県の教育に深く精通されている方なのです。ご来校いただき誠にありがとうございました。😊今後もご指導くださいませ。

# 委員会活動の子ども達(^\_^)-☆の姿



図書委員会の皆さん



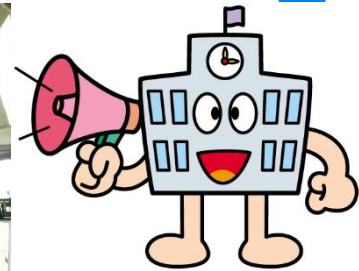
整美委員会の皆さん



放送委員会の皆さん



生活・安全委員会の皆さん



園芸委員会の皆さん



給食委員会の皆さん



児童会の皆さん



保健委員会の皆さん

